

## 津山市とUR都市機構がまちづくり基本協定を締結 ～中心市街地のまちづくりや広場「城下スクエア」などの利活用を推進～

津山市と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、津山市のまちづくりを相互に連携・協力して推進するため、基本協定を締結します。

については、下記のとおり、協定の調印式を執り行いますのでお知らせいたします。

### 記

- 1 日 時 令和7年5月27日（火）13時30分～
- 2 場 所 津山市役所本庁舎3階 庁議室（岡山県津山市山北520）  
※取材をご希望の方は、以下津山市のお問合せ先までご連絡ください。
- 3 出席者 谷口 圭三 津山市長  
長尾 俊彦 津山市副市長  
高原 功 UR都市機構 理事・西日本支社長 ほか
- 4 次 第 出席者紹介、概要説明、協定書署名、写真撮影、  
挨拶（谷口 圭三 津山市長、高原 功 UR都市機構 理事・西日本支社長）
- 5 本協定に基づく連携事項
  - ・津山市中心市街地のまちづくりに関すること
  - ・城下スクエア※1及び森本慶三記念館※2における民間事業者を活用した  
一体利活用に関する事 等

※1 城下スクエア：令和6年、津山国際ホテル跡地に津山市が整備した多目的広場（津山市山下98-2）  
※2 森本慶三記念館：城下スクエアに隣接する国登録有形文化財（津山市山下98-1）

### （お問合せ先）

津山市 産業経済部 商業・交通政策課 （電話）086-832-2081

UR都市機構 西日本支社

都市再生業務部 中国まちづくり支援事務所 まちづくり支援課 （電話）082-568-8951

総務部 総務課 広報担当 （電話）06-4799-1231

## <協定締結の背景>

津山市は、空洞化が進む中心市街地において、城下町の歴史文化を継承し県北地域の広域交流拠点とすることを旨とする「津山城下まちづくりビジョン」（以下、「ビジョン」という。）を策定しています。また、ビジョン実現に向けて、多目的広場「城下スクエア」を整備するなど、エリア価値向上に向けた取り組みを実施しています。

UR都市機構は、令和2年に津山市とのまちづくり基本協定を締結して以降、ビジョン策定や、津山国際ホテル跡地および森本慶三記念館の官民連携による利活用に関する社会実験を通じた検討を支援しています。協定はまちづくりの展開に沿って更新が続いており、今回で3回目の締結となります。

今回の協定では、ビジョンに基づくまちの将来像の具現化に向け、その先導事業としての「城下スクエアと森本慶三記念館の一体利活用」の実現をはじめ、中心市街地のまちづくりに関し更なる連携・協力を推進することとしています。

## <UR都市機構について>

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・暮らしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

令和6年能登半島地震への対応については、被災者の生活再建のため応急仮設住宅建設に係る技術的支援等を行うとともに、被災市町の復興まちづくりに係る支援を行っています。

<https://www.ur-net.go.jp/>

